

# 明治百年通り周辺地区

(秋田県小坂町)

- 計画期間 平成24年度～平成28年度
- 面積 116.0ha
- 交付対象事業費 682百万円
- 町人口 5,592人 (地区内人口 2,090人)

## ポイント

町に残る近代化産業遺産の一つであり、既に廃線となった小坂鉄道の施設や車両群のほか、木骨煉瓦造の建造物等を活用し、地区のにぎわい創出と活性化を進めている。

## 地区概要

国重文に指定されている小坂鉱山事務所、康楽館などが建ち並ぶ明治百年通りを中心として、歩行者滞留空間の整備などにより回遊性を持たせ、観光客との交流を進める。

**目標** 大目標：「歴史性」「文化性」「生活利便性」が調和した、にぎわいと親しみのあるまちづくり

目標①：観光客が「現在・過去・未来」の小坂町を実感することができる空間の形成

目標②：地域住民が親しみを持ち、日常的に利用でき、併せて観光客と交流ができるにぎわい施設の整備

## 指標

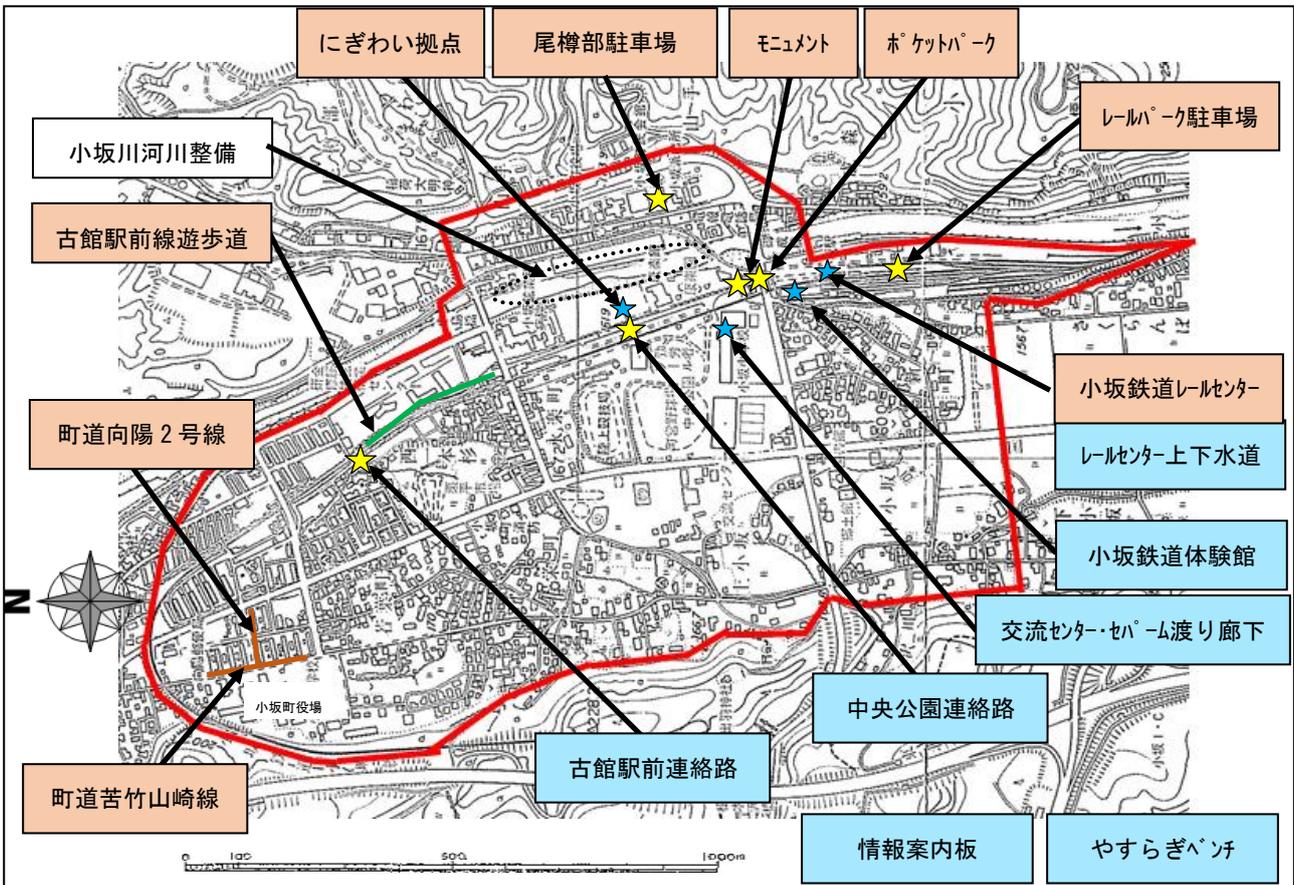
多くの人々が訪れ、にぎわいと活気のある地域づくりの観点から、次の目標指標を設定した。

町の観光入り込み数	142,868人(H22)	→	157,000人(H28)
活気があると感じる町民割合	15.4%	→	29.1%
観光振興の町民満足度	2.9/5	→	3.1/5

## 事業内容

基幹事業 (507.0 百万円) → 道路、地域生活基盤施設 (広場、駐車場、情報板)、高質空間形成施設 (緑化施設等)、高次都市施設 (観光交流センター)、既存建造物活用 (観光交流センター)

提案事業 (175.0 百万円) → 地域創造支援事業 (上下水道整備、交流センター・セパーム渡り廊下整備、小坂鉄道体験館整備、連絡路整備)、事業活用調査 (事後評価調査)



## 地区の現況と課題

江戸時代末期から金、銀、銅の採掘が行われてきた鉱山町であり、かつては日本三大銅山の一つであった。町は鉱山の繁栄と衰退とともに生き、閉山後は空洞化が懸念されてきた。

また、小坂鉱山とともに歩んできた町には、非公開を含め明治期からの建物や鉱山関係施設が数多く残されており、その近代化産業遺産を活用したにぎわいづくりを進めてきたが、観光客と地域住民の交流が進んでいない。

## 提案事業の特徴

### ●小坂鉄道体験館整備

小坂鉄道全線のレール幅が改良された昭和 37 年建設の機関車庫で、機関車 4 両などの車庫、整備工場として使用されてきた建物である。機関車のほか鉄道資料の常設展示場として整備した。

### ●小坂中央公園連絡路整備

明治百年通りと隣接する小坂中央公園は、小坂鉄道軌道により分断された状態であるため、歩行者が自由に行き来できる連絡路を整備し、回遊性の向上を図る。

## 計画策定プロセス

### ●旧小坂駅保存活用基本計画の策定

小坂鉄道が廃線となる以前から、有志による年一回の「鉄道の日イベント」により利活用の機運が盛り上げられていた。しかし、鉱山専用鉄道の廃線が確実視されていたため、「旧小坂駅保存活用基本計画」の策定を行い、小坂鉄道施設の保存に向けた考え方を示した。

### ●明治百年通りにぎわい創出基本計画の策定

町民の代表らからなる「にぎわいづくり協議会」などでの意見を取り入れながら「明治百年通りにぎわい創出基本計画」を策定し、明治百年通りを中心とした町のにぎわいを作り上げるための考え方を示し、その後の都市再生整備計画事業に活かしている。

## 小坂町 細越 満町長のコメント

明治百年通りには国重要文化財に指定されている芝居小屋「康楽館」や「旧小坂鉱山事務所」、国有形登録文化財「天使館」などの歴史的建造物を活用した施設が既に整備されており、小坂鉄道施設群も町の近代化産業遺産と捉え、「活用なくして保存なし」の考えのもと、現役施設としてお客様をお迎えし、楽しんでいただいております。

歴史あるものを活用しながら保存することは、手間のかかる面も多々ありますが、小坂鉄道保存会などの協力を得ながらこの場所であれば経験できないものを提供し、地域の皆さんや観光客の皆さんと共に、にぎわいの創出に役立てていきたいと考えております。

## にぎわいづくり協議会委員

### 齋藤 孝志氏のコメント

小坂鉄道レールパークがオープンしたことによって、若い家族連れが増えるなど、明治百年通りを訪れる方の層が変化してきたように感じます。

ますます活気ある町にするため、我々商業者も積極的ににぎわいづくりに参加し、明治百年通りを中心とした回遊性を広げるためのお手伝いをしていきたいと思っております。

## 小坂鉄道保存会会長

### 千葉 裕之氏のコメント

私たちは、小坂鉄道が廃止される以前からこの鉄道の持つ産業遺産の希少性と、沿線の豊かな自然景観に魅せられ、撮影活動などで通い詰めておりました。その長年に渡る活動を通じた地域社会との交流の中で鉄道廃止後の保存と活用について共に知恵を出し合い、小坂鉄道レールパークとして復活させることができました。私たちは鉄道における経験と豊富な知識、そしてチャレンジ精神をもって、お客様の笑顔と、地域社会の元気に貢献するべく地道な努力を重ねております。また会員の保存活動においても、自己表現が社会貢献につながる喜びを感じられるような、感動を共有する場として守り、育てて参ります。

## 【小坂・鉄道まつり 2012・2013 の様子】



小坂鉄道保存会からボランティアによるおもてなし



## 【修復され活用される小坂駅と車両】



時計回りに「冬期のラッセル体験」「簡易宿泊施設・寝台特急あけぼの」

「小坂鉄道保存会の面々」「小坂鉄道レールパークオープン」

## 【明治百年通りに移築され活用される 木骨煉瓦造のにぎわい拠点施設】



## 【かつての古館駅前線】

～桜並木の遊歩道を整備中 回遊性の向上を図る～



写真提供：小坂鉄道保存会 千葉裕之氏